

施工・メンテナンス

下記要領にはフェルトバックタイルカーペット「REGENCY（リージェンシー）」の施工上重要な項目が記載されています。
トラブルの無い確実な施工をして頂くためにも、取り扱いの際には良く読み、以下の事項を必ずお守り下さい。

1.専用接着剤

- ① 品名：SG-55
- ② メーカー：シンコール株式会社
- ③ タイプ：ピールアップ系
- ④ 塗布量：100～120g/㎡以上
- ⑤ 注意事項
必ず専用接着剤「SG-55」をご使用下さい。
「SG-55」以外の接着剤を使用された場合の施工トラブルは原因
解明が出来ないため、ご相談には応じられないケースがあります。

2.材料の保管と搬入

- ① 商品は梱包を解かずに直射日光の当たらない平坦な場所で
保管して下さい。
- ② 5段以上に積み上げないで下さい。
- ③ 施工現場には12～24時間前に搬入し、梱包を解かずに室温
に馴染ませて下さい。室温は15～25℃が理想で、施工時も
同じ温度を確保して下さい。

3.施工方法(下地)

- ① 下地コンクリートの湿気が多いと接着不良や膨れを生じる可
能性があります。水分率は8%以下を目安とし十分に下地を乾
燥させて下さい。
- ② 下地に不陸や目違い、接合部における突起や凹凸がある場
合は取り除き、必要に応じて補修して下さい。ザラついたり、粉
をふいているコンクリート床の場合には、プライマーによる処理
を行って下さい。
- ③ 下地面には、ワックス・グリス・油類・塗料などの汚れが残っ
ている場合は接着不良を招く事があります。完全に除去した後
に施工して下さい。
- ④ 下地が平滑かつ強固であれば、フローリングなどの既存下地
への施工も可能です。但し、置き敷きは不可とし、必ず専用接
着剤での全面貼り付けを行って下さい。
- ⑤ フェルトグリッパー工法からのリフォームで、ドア下などの「高さ
(チリ)」合わせが必要な場合は、別途「段差調整板(品番：
BF4520)」をご用意しております。商品及び施工方法は、見
本帳6ページ及び右記をご覧ください。

注意 接着剤を使用しない置き敷きは不可です。

注意 フェルトバックタイルカーペット裏面に印字されている「矢
印」等の施工用マークが、接着剤やワックスを通して下
地に転写される可能性があります。消去困難となりますの
で、フローリング等への施工の際はご注意ください。

注意 【施工不可下地】
以下下地への施工は出来ません！
床暖房下地

4.施工手順

- ① 割付
部屋の中央部に、タテ・ヨコ共墨出し線(基準線)を直角にな
るように引きます。基準点は出来るだけカットする外周のタイル
サイズが最大になるよう設定します。
- ② 接着剤の塗布
専用接着剤「SG-55」を指定量(100～120g/㎡以上)塗布し、
乳白色が透明になるまでオープンタイムを取ってから貼り始めて下
さい。吸い込みの激しい下地では塗布量を多めに調整して下さい。
※推奨コテ:ステンスプレダー荒目(ヤヨイ化学販売)

注意 接着剤の使用量は必ず守って下さい。塗布量が少な
い場合、反りや突き上げが発生する恐れがあります。
貼り替え時でも適切な粘着力が出るように必ず再塗布
して下さい。

- ③ 敷き込み
■ 保管具合による材料の反りや歪みが発生していないかチェッ
クして下さい。軽微な反りがある場合は、手で下反りに矯正し
ながら貼り付けてください。
- 裏面の矢印を確認しながら、指定された貼り方(市松貼り・流
し貼り)で敷き並べます。
- 墨出し線の交わる所よりそれぞれのラインに沿って1列敷き込
みます。以降ピラミッド状に順次貼り付けます。
- 目地はきつくなりすぎないよう、目地を揃えて並べていく感覚でゆる
めに貼り付けます。目安として10枚で5,005mm程度となります。
- すでに貼り付けたタイルのパイル部分を目地に巻き込まないよ
うに注意して下さい。
- 目地の毛羽立ちがある場合は、隣のタイルカーペットを少し持
ち上げ、側面で起き上がっているパイルを少し押さえながら元
に戻すとある程度目立ちにくくなります。
- 浮きなどがないように、ハンドローラーで目地部を押さえて下さい。
- ④ カッティング
■ 基本的に表面よりカットして下さい。
- 壁面部分はカット面が壁際に接するようにして下さい。

5.施工後の注意

- ① タイルカーペットの方向性があるかチェックして下さい。
- ② 目地部分の浮きや隙間の有無、パイルのほつれや飛び出しが
無いかチェックして下さい。
- ③ 重い家具什器等を移動する場合は、タイルカーペットの上に
ベニヤ板を敷いて移動して下さい。

6.段差調整板の利用

- ドア下などでのチリ(高さ)合わせとして、段差調整板を利用し
て下さい。ゆるやかな勾配にて段差が気になりにくくなります。
(例:フェルトバックタイルカーペット9.5ミリ+段差調整板4.5ミ
リ=総仕上がり14ミリ)
- 【商品規格】
- ① 品名：段差調整板 BF-4520
 - ② 寸法：4.5mm～0.2mm(厚さ)×200mm(幅)×1m(長さ)
 - ③ 梱包：6枚入り/ケース
 - ④ 材質：塩ビ樹脂
 - ⑤ 接着剤：SG-1000(ウレタン樹脂系溶剤型)
EPシングルウレタン()
- 【施工方法】
- ① 事前注意点
■ 段差調整板には表、裏があります。長手方向に向けて筋が
入っている側(裏)を下地に貼り付けて下さい。
 - 上に貼り付けるタイルカーペットの目地と段差調整板の目地
が重なり合わないよう割り付けを考慮下さい。
 - 出隅、入隅が発生する場合は、出入隅から先に留め(留め接
ぎ)で貼り付けて下さい。
 - ② 施工手順
■ 段差調整板を施工する下地位置に墨出しします。
 - 段差調整板に留め(留め接ぎ)部分が必要な場合は重ね切り
します。
 - 墨線に合わせ段差調整板を「SG-1000」、「EPシングルウレ
タン」で接着し、ローラーを用い十分に圧着します。
 - 下地と段差調整板の接着強度が十分に確保されたあと、フェ
ルトバックタイルカーペットを施工します。施工方法は標準施
工方法に準じます。

■ 出隅、入隅部分での接着強度が弱く、浮きや剥がれが懸念さ
れる場合は、必要に応じてその部分のみを速乾系接着剤で固
定して下さい。その場合、固定した場所はピールアップ性が確
保出来ませんのでご注意下さい。

7.メンテナンス

- ① 予防メンテナンス
タイルカーペットの汚れは、約90%が靴底から持ち込まれるも
のです。カーペットの美観を保つには、日常の清掃と汚れを水
際で防止する計画が大切です。
- 出入り口には防塵用フロアマットを設置して下さい。
- 汚れたら早急に拭き取って下さい。
- ② 日常清掃
バキューム(掃除機)作業を中心に、シミ取り、パイルのほつれの
補修を行います。シミは出来るだけ早く除去することが肝心です。
- 毎日1回以上、真空掃除機やアップライト型集塵機にて土砂
やほこり、細かいゴミを取り除いて下さい。
- シミの種類を確認し、適切なシミ取り剤を選定し除去して下さい。
取れない汚れは予備のスベアタイルなどと差し替えて下さい。
- パイルのほつれや剥離は直ちに補修して下さい。著しく傷んだ
ものは、予備のタイルカーペットなどと差し替えて下さい。
- ③ 定期清掃
建物の使用状況や汚れ具合に応じて、定期又は不定期での
クリーニングを実施して下さい。但し、商品の特性上、大量の
水の使用や熱のかかる方法は避けて下さい。
- ②の日常清掃(バキューム作業、シミ取り、補修等)を実施後、
洗浄作業を行って下さい。クリーニング法としては、「パウダー
方式」、「バフingパッド方式」をお勧めします。単独もしくは
併用して実施して下さい。

注意 高温・高圧の水蒸気を使用した「スチーム方式」でのク
リーニングは不可です。反りや突き上げ、層間剥離が
発生する可能性があります。

8.使用上のご注意

- めくれ、反り、フクレ等が生じた場合には即座に補修して下さ
い。放置しておくとも美観を損なうほか、転倒事故を招く危険性
があります。
- パイルがほつれた場合、ほつれの伝染を防ぐためにもすぐに補
修(ハサミでカットする等)して下さい。
- パワーブラシ付掃除機をご使用の場合、パイルの素材や形状
によってはパイルを傷める事があります。
- ハイヒールや家具等の局所荷重によって、凹み跡が残る可能
性があります。
- 家具の足ゴムやゴムマットなどのゴム製品・塗料・漂白剤、サビ
取り剤、殺虫剤などが付着すると、変退色を招くケースがありま
すのでご注意下さい。
- 長時間直射日光が当たる場所では、パイルが変退色するケー
スがあります。カーテン・ブラインド等で日除けをして下さい。
- 素材には固有の臭いがあります。換気に心掛けて下さい。